

から平成27年3月31日までの3ヶ
年となります。

「美祢市中心身障害児（者）福祉施設の指定管理者の指定」について

美祢市地域活動支援センター「ひので」の指定管理者を社会福祉法人美祢市社会福祉協議会に指定するものです。

指定期間は、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3ヶ
年となります。

「美祢市火葬場の指定管理者の指定」について

美祢市斎場「ゆうすげ苑」の指定管理者を有限会社こまつに指定するものです。

指定期間は、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3ヶ
年となります。

「美祢市農産物加工施設の指定管理者の指定」について

美東農産物加工所、通称「みとう味の館」と美祢市農産物加工センター、通称「虹工房」の2施設の指定管理者を、山口美祢農業協同組合に指定するものです。

指定期間は、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3ヶ
年となります。

「美祢市直売所みとうの指定管理者の指定」について

同施設の指定管理者を山口美祢農業協同組合に指定するものです。

指定期間は、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3ヶ
年となります。

「美祢市美東桂岩ふれあいセンターの指定管理者の指定」について

同施設の指定管理者を桂岩ふれあいセンター管理組合に指定するものです。

指定期間は、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3ヶ
年となります。

「美祢市農林資源活用施設の指定管理者の指定」について

同施設の指定管理者を美祢農林株式会社指定するものです。

指定期間は、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3ヶ
年となります。

「美祢市秋芳名水特産品直売所及び美祢市秋芳名水ふれあいの広場の指定管理者の指定」について

同施設の指定管理者を堅田地区に指定するものです。

指定期間は、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3ヶ
年となります。

条例の廃止

美祢市高齢者コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の廃止について

この施設は、高齢社会に対応し地域のコミュニティを推進するため、秋芳町秋吉に建設され、（社）美祢市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、管理運営していました。しかし、現在の施設の利用は高齢者福祉のみならず、地域福祉活動の拠点としての活用が多い状況にあります。

そのため、高齢者コミュニティセンターとしての設置及び管理に関する条例を廃止し、廃止後は、（社）美祢市社会福祉協議会への貸与を行い、地域福祉活動全般に対応できる拠点施設として利用することにより、住民福祉の向上を図ることとしています。

一般質問と答弁



(日本共産党)
みよし むつこ 議員

1、秋吉、岩永地区の簡易水道の軟水化について

問

この地区の簡易水道水は、石灰分を多く含み硬度が高いので、この解決のために、美東・秋吉地区の方が取水場に硬度低減化装置の設置を求める署名を提出しています。「市長と語る会」でも要望が多く出されています。

市長の回答は、「硬度低減化に向けて現在作業を実施している。安全・安心の水の提供を目指して前向きに検討している」とのこと

ことですが、その後の計画や見通しについて、お尋ねします。

答

地区の皆様から強い要望もありまして、改善の必要について十分認識しています。

これを改善する方策として、硬度低減化装置の導入も考えられますが、この導入の際、多額の設置費用、メンテナンス等の管理費用を要します。

したがって、この水道事業が地方公営企業という原則を踏まえた長期的な経営計画に基づくことが必要必須であると考えます。

今年度より美東・秋吉簡易水道を美祢市水道事業と統合して、かつ地域水道ビジョンの策定と水道料金の統一等の条件整備が重要だと考えたうえで、水道水の軟水化も検討していきます。

2、デマンドタクシー(ミニバス)の運行地域の拡大と充実について

問

ドアからドアへの送り迎えのデマンドタクシー事業は、高齢者の移動手段の確

保として重要です。この事業を交通不便地域にさらに拡充するべきですが、市長のお考えをお尋ねします。

答

15地区の交通不便地域が解消もしくは解消に近づいています。

来年度は、豊田前、西厚保地区にミニバス事業を計画しています。市内全域の交通不便地域の解消のため、路線バスとミニバス運行を連携させてミニバス運行の地域を拡大していきたいと考えています。



ミニバス

3、学校給食の食器について

問

学校給食の食器について、安全性と耐用年数を視野に、食器を年次的に更新することが重要です。

小・中学校で使用されている食器をより良い物に改善していくために、どのような方針をお持ちなのかお尋ねします。

答

食器は食品衛生法の規定に適合した物を使っているので安全性は確保されていると考えています。

また、学校薬剤師が食器のキズなどに付着する残留栄養素等の検査を行っています。

食器の耐用年数については5～6年が目途ですが、使用頻度によっては差があると考えられますので、できる限り早く更新するよう努めています。

本年度約220万円の予算を計上し、適切な食器更新事業について検討し、安全・安心で豊かな、学校給食を推進していきます。